

◆廃校を活用したローカルイノベーション拠点施設整備事業①新産業創出プロジェクト～

活用した交付金等	基本目標	政策名	施策名	事業実施課	計画認定期間	KPI	単位	指標タイプ	目標・実績	事業開始前	(1年目)30年度	(2年目)R1年度	(3年目)R2年度	(4年目)R3年度	(5年目)R4年度	KPI増加分の累計
地方創生拠点整備交付金	2	交流・関係・定住人口の拡大	特色を活かした移住・定住の促進	地域政策課	H30. 8. 31 から R5. 3. 31	施設が関与した実験的取組のうち事業化されたサービス・商品の利用者数	人	水準型	目標 実績	0	0	0	200	400	600	1,200
						サテライトオフィス誘致企業雇用者数	人	水準型	目標 実績	0	0	0	20	40	60	120
						地元温泉街(古湯)宿泊数	泊	水準型	目標 実績	60,000	0	0	5,000	5,000	5,000	15,000

R3年度実施・R4年度評価	
進捗状況	総括
△	移動抑制など、新型コロナウイルス感染症対策の影響を大きく受けた結果となっている。アフターコロナ、ウイズコロナを見据え、県内及び県外の需要喚起を進めたい。また、施設の新たな利活用についても検討したい。

◆さが藻類産業推進プロジェクト～広域連携/バリューチェーン構築推進事業～

活用した交付金等	基本目標	政策名	施策名	事業実施課	計画認定期間	KPI	単位	指標タイプ	目標・実績	事業開始前	(1年目)29年度	(2年目)30年度	(3年目)R1年度	(4年目)R2年度	(5年目)R3年度	KPI増加分の累計
地方創生推進交付金	3	地域経済を支える産業の振興	未来を見据えたバイオマス関連産業の推進	バイオマス産業推進課	H29. 5. 30 から R4. 3. 31	藻類を活用した新規事業件数	件	水準型	目標 実績	0	1	10	15	15	20	61
						協議会活動による商品開発件数	件	水準型	目標 実績	0	3	15	20	20	30	88
						藻類産業における新規就業者数	人	水準型	目標 実績	0	20	30	35	35	40	160
						佐賀市産藻類由来製品出荷額	千円	水準型	目標 実績	0	700,000	300,000	500,000	1,000,000	2,500,000	5,000,000

R3年度実施・R4年度評価	
進捗状況	総括
△	既に商品開発している企業以外にも、新たに商品開発に取り組む企業が出てきており、新規参入に向けた研究開発は行っているものの、企業数が少なく、新たな雇用の大幅な増加にまではつながっていない。アスタキサンチンを含む藻類をニワトリのえさに混ぜ、アスタキサンチン入りの卵が完成し販売されたことは、複数のメディアに取り上げられ話題となった。また、微細藻類からの血圧降下成分の発見や、DHAを産生するイカダモの新種発見といった成果も生まれた。

◆中心市街地における人の流れを生み出す効果的な導線(連続性)づくり事業

活用した交付金等	基本目標	政策名	施策名	事業実施課	計画認定期間	KPI	単位	指標タイプ	目標・実績	事業開始前	(1年目)R2年度	(2年目)R3年度	(3年目)R4年度	(4年目)R5年度	(5年目)R6年度	KPI増加分の累計
地方創生推進交付金	2	都市ブランディングの強化	街の顔となる駅前空間の形成	商業振興課	R2. 3. 30 から R7. 3. 31	中心市街地居住者数	人	水準型	目標 実績	9,256	23	27	45	51	60	206
						中心市街地の地価公示(標準値)の平均値	円/㎡	水準型	目標 実績	102,513	200	300	500	500	2,000	
						中心市街地の主要商店街通行量	人	水準型	目標 実績	63,150	1,850	2,000	3,700	9,500	36,850	
						本事業に基づく遊休不動産の活用物件数	件	累計型	目標 実績	0	1	2	4	4	4	15
						中央大通りの路線価の平均値	円/㎡	水準型	目標 実績	128,000	-	2,000	2,000	3,000	4,000	11,000

R3年度実施・R4年度評価	
進捗状況	総括
△	新型コロナウイルス感染症の影響等により、KPIの一部が目標を達成できなかった。引き続き、KPIの達成に向けて、中心市街地に都市機能が集積されたコンパクトかつ拠点性の高い都市構造を確立するため、都市機能(商機能等)の誘導のみならず、居住促進に向けた受け皿としての遊休不動産の有用性を発揮する取組を構築するとともに、令和3年度に構築した中央大通りの将来像・土地利用方針の実現に向けた取組(民間投資喚起策等)を強化にする。

◆「砂糖文化を広めた長崎街道～シュガーロード～」を活かしたマイクロツーリズム促進、食料品製造業収益性向上事業

活用した交付金等	基本目標	政策名	施策名	事業実施課	計画認定期間	KPI	単位	指標タイプ	目標・実績	事業開始前	(1年目)R3年度	(2年目)R4年度	(3年目)R5年度	(4年目)年度	(5年目)年度	KPI増加分の累計
地方創生推進交付金	2	交流・関係・定住人口の拡大	観光ホスピタリティの充実	観光振興課	R3. 3. 30 から R6. 3. 31	関係自治体の食料品製造業における付加価値生産性(全国以上)	自治体	水準型	目標 実績	2	2	2	2			6
						観光客入込数	万人	水準型	目標 実績	10,324	326	350	350		1,026	
						地域の文化に誇りを感じる住民の割合	%	水準型	目標 実績	0.0	10.0	10.0	10.0		30.0	
						日本遺産への協力団体数	団体	水準型	目標 実績	73	3	3	4		10	

R3年度実施・R4年度評価	
進捗状況	総括
△	新型コロナウイルス感染症の影響等により、観光客数が減少、製造業である菓子業者も打撃を受け、思うような成果は出ていない。引き続き、KPIの達成に向けて、インバウンド対策を中心に継続的にシュガーロードの魅力を発信し、住民の認知度向上、関係事業者との連携強化観光客の増加の取り組みを進めていく。